

検索  
自衛隊宮崎地方協力本部  
<https://www.mod.go.jp/pco/miyazaki/>  
ホームページリニューアルしました！



Instagram X facebook HP

Miyazaki  
Provincial Cooperation office



# 宮崎

宮崎地本だより

発刊元：自衛隊宮崎地方協力本部  
編集：募集課 広報班

お問い合わせ  
宮崎県宮崎市東大淀2丁目1-39  
TEL&FAX 0985-53-2643

## 【令和5年度自衛官等採用試験本格化！】

会場：延岡市社会教育センター・都城市総合福祉会館  
・西都市コミュニティセンター日本生命宮崎駅前ビル



9月に入り、16日の高校新卒者に対する採用選考の解禁を迎え、同日から第2回一般曹候補生1次試験及び第3回自衛官候補生採用試験を開始するなど、採用試験の最盛期に突入しました。

今回実施した一般曹候補生採用試験と自衛官候補生採用試験は、部隊の骨幹となる二等陸・海・空士の採用するものであり、自衛隊の人的戦力を維持するためにも非常に重要な採用種目となります。そのため県内4箇所に試験会場を設置し、万全の準備態勢で採用試験日を迎えました。

この時期に向けては、自衛官募集の主な対象となる高校新卒者に対する募集活動のこけら落としとして、陸幕が主催する全国統一夏季広報キャンペーン(7月20日)に参加して、宮崎駅前を始めとした県内各所において「自衛官募集」をPRするとともに、夏休みシーズンにおける募集広報を本格化しました。

当日は、緊張した表情や、将来に期待を膨らませた多くの学生が受付に訪れました。真剣な面持ちで採用試験に挑んでいる姿に現役の自衛官である私たちも身の引き締まる思いで試験業務にあたり、将来の後輩になる可能性を秘めた学生たちを心の中でそっと応援しつつ、不具合事項等無く無事に採用試験を終えることができました。

## 【西部方面総監初度視察】



令和5年9月28日(木)に西部方面総監(山根寿一 陸将)の初度視察を受察しました。宮崎県知事(河野 俊嗣 氏)への表敬の後、本部にて状況報告を受けた総監は、予備自衛官獲保の重要性、任期制隊員に対する親身な援護業務の他、特に危機感を持った募集業務の継続をご指導の上で県内各協力団体の皆様からのご支援は、他県に比して特に手厚く感謝の気持ちをお伝えいたしました。

## 【令和4年度優秀自衛隊地方協力本部表彰】



令和5年6月20日(火)ホテルグランドヒル市ヶ谷で実施された、令和5年度全国自衛隊地方協力本部長等会議に出席し、令和4年度の募集・援護等業務において、顕著な成果のあった自衛隊地方協力本部として、陸上幕僚長(森下 泰臣 陸将)から第2級賞状を受賞しました。また、優秀広報官表彰において、新田原分駐所の広報官(越智 大介 2等空曹)が第2級賞詞を受賞しました。

このように情勢の中で自衛隊は国民の負託に堪えるべく、その実力のさらなる進化を目指しているところですが、これは自らの努力だけでなく、地域の皆様をはじめ広く国民のご理解がなければ成りません。自衛隊宮崎地方協力本部は地域と自衛隊を結び架け橋として、今とこれからの自衛隊を正しくご理解して頂きますよう、微力ながら各地の自衛隊部隊のご支援を頂くと、前述した防災イベントや県内各自衛隊の部隊イベント等、皆様と直接触れ合える大切な機会にて自衛隊の様々な姿をお伝えしていきます。

今年度に入り、新型コロナウイルスの影響によって、これまで自衛隊との交流が再開されたことは大変喜ばしく、皆様から頂きました暖かな応援のお言葉とご支援に関する多彩なアイデアの数々は、我々にとって大変心強く大きな心の支えとなっております。この場をお借りしまして改めて深く感謝申し上げます。隊員募集については厳しい環境のもとにありますが、強固な入隊意志を持つ若者との出会いが絶えることはありません。また県内の様々な企業様からは、任期満了や定年により自衛隊を卒業してゆく隊員に対して高い御期待を寄せて頂いております。これからの宮崎の若者達が国防という舞台で自身に磨きをかけ、再び宮崎の地にて活躍して頂くための一助となるよう尽力していきます。結び、自衛隊宮崎地方協力本部はこれからも皆様に安心をお届けできますよう、遅くも遅くも皆様のそばに在り続けます。

「たまゆら」読者の皆様におかれましては、日頃より自衛隊宮崎地方協力本部の活動に対してひとかたならぬご支援ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。おかげさまで令和5年度上半期の活動も順調に進み、今年度の折り返し点にたどり着くことができました。下半期は、我々の主要な任務である募集、就職援護について益々大切な時期を迎えると同時に、これまでの成果を次年度あるいはその先の将来にまで反映させることにも着意しつつ業務の企画と運営に取り組んでいきます。

さて、我が国の周辺情勢は予断を許さず、ロシアとウクライナの間においては激戦が続いており、各国による支援と対話が続けられていますが未だ出口は見出せません。北朝鮮は弾道ミサイル等の能力向上を継続するとともに発射を繰り返しており、世界各国がその動向を警戒し続けています。中国は東シナ海から太平洋へと軍事活動の領域を拡大することで周辺国への影響力を益々強めており、緊張の日々が続いています。

国内においては様々な自然災害が各地で発生しており、自衛隊の災害派遣要請は絶えることがありません。さらには南海トラフ地震といった極めて過酷な災害の生起が予期されています。宮崎県内においても様々な防災イベントや訓練が実施されており、その高い防災意識に一層身の引き締まる思いです。

【たまゆら】読者の皆様

【国家を守る公務員】自衛官募集中!!

### 【令和5年度募集広報資料ビデオレター撮影】

撮影場所：防府北基地・防府南基地・久留米駐屯地・都城駐屯地・えびの駐屯地



5月下旬から6月中旬の間、令和4年度に宮崎県から入隊した新隊員を訪ね、母校の学校説明会や後輩への熱いメッセージを伝えるためのビデオレター撮影を計画し、航空自衛隊防府北基地・防府南基地を皮切りに陸上自衛隊第118教育隊（久留米駐屯地）、都城教育隊（都城駐屯地）、えびの教育隊（えびの駐屯地）の順で撮影を実施しました。

各教育隊で見た新隊員は、日に焼けた素肌が訓練の厳しさを物語っていたが、弾けるような笑顔から充実した日々を送っているように思えました。ビデオレター撮影では、陸・空それぞれの特色がでており、入隊してからの感想や後輩に対するメッセージをそれぞれ贈ってくれました。「入隊前は集団生活が不安だったが同期の支えで頑張れる。」「進路で悩んでいるなら自衛隊も選択肢に入れて欲しい。」等、この2ヶ月で様々な困難を乗り越え、非常に逞しく立派に成長した姿がありました。その中でも、自分の両親や、お世話になった先生方に感謝を伝える姿には感動を覚えました。

宮崎地方協力本部は、これからも「平和を愛し、国民を守る」そんな高い志のある原石探しを行い、自衛隊と一緒に働く新しい仲間を増やしていきたいです。

### 【令和5年度宮崎県任期制退職予定隊員合同企業説明会開催！】

会場：シーガイアコンベンションセンター



令和5年8月25日(金)、シーガイアコンベンションセンター(宮崎市)において、一般財団法人援護協会福岡支部との共催により、令和5年度任期制退職予定隊員合同企業説明会を開催しました。

本説明会は、任期制退職予定隊員の再就職準備が円滑化することを目的として、宮崎県内に就職を希望する隊員と宮崎県内に就業場所を保有し、退職予定隊員の採用を検討している企業の「最初の出会いの場」として例年開催しています。

参加した56名の隊員は、限られた時間の中、真剣な面持ちで企業担当者からの説明に耳を傾け、疑問・質問を積極的に投げかけていました。

企業は昨年度より10社多い67社に参加いただくとともに、地元報道機関(テレビ・新聞各1社)の取材も受ける等、県内における退職自衛官の雇用への関心・期待度の高さがうかがえ、企業担当者の一人は「過去にも任期制退職隊員の採用実績があり、訓練や任務で培った精神力、コミュニケーション力を期待している。」と述べられていました。

宮崎地方協力本部では、本合同企業説明会の成果を踏まえ、援護担当者一人一人が誠意をもって退職予定隊員と企業双方が満足し得る適職援護を目指していきます。

### 【艦艇広報「護衛艦せとぎり」】

場所：宮崎港



令和5年7月8日(土)に宮崎港で実施された護衛艦「せとぎり」(艦長 星原 健吾 1等海佐)による艦艇広報を支援しました。宮崎港での艦艇の一般公開は約1年ぶりであり、来場者は老若男女問わず約千人を迎え入れることができました。宮崎地本は、広報ブースとして①募集グッズの配布②アンケートコーナーを設置し募集対象者情報の獲得に努めました。防衛大学2年生が体験航海のために乗艦しており、来場した防衛大学校志望の高校生と親御様に防衛大学校とは何たるかを説明した点であり、説明を受けた募集対象者及び御家族は現役防衛大学校生の話が聞けて非常に有意義であったと答えてくれました。本活動を通じて、来場した市民に自衛隊に対する認識と理解を深め、防衛施策に対する信頼と協力を得るための親近感の醸成を図ることができました。

宮崎地方協力本部は部員の職務遂行、関係部隊、地元地方自治体及び協力団体の協力を受け、職員一人一人が情熱をもってこれからも自衛官の募集、退職自衛官の就職援護、予備自衛官の管理等に邁進していきます。

### 【予備自衛官・即応予備自衛官・予備自衛官補等招集訓練開始！】

訓練場所：都城駐屯地・えびの駐屯地・国分駐屯地



連日、30度を超える気温が続く今夏でしたが、令和5年度予備自衛官等招集訓練が本格的に始動しました。

予備自衛官訓練では、7月の初回の訓練に際し、80名近い予備自衛官の方々が訓練招集に応じ炎天下の中、体力検定や射撃訓練に臨み、小火器射撃検定では高得点が続き、高い練度が維持されていると感心させられました。また、9月初旬に行われた第2回目の訓練でも、残暑というには厳しい暑さの中、各種訓練に励み練度の維持・向上や新しい知識の普及教育に耳を傾け積極的に訓練に臨む姿勢に感心させられました。

即応予備自衛官訓練では、自身の勤務の忙しい中、出頭調整され、それぞれの訓練担当部隊での訓練に励んでいました。また、即応予備自衛官を目指して訓練を受けている公募予備自衛官の方々の訓練も佳境を迎え、今年度中には即応予備自衛官となり新たなステージに立とうとしています。

予備自衛官補教育訓練では、7月1日に11名の予備自衛官補新規採用者を加え教育訓練が開始されました。初回の訓練から多くの予備自衛官補の方が参加し、一昨年より導入されたe-ラーニングを活用した教育訓練を受講する予備自衛官補も見られ、各自、予備自衛官を目指して教育訓練に励む姿を見ることができました。訓練最盛期を迎え、方面隊等企画する訓練が実施される予定であり、宮崎地本では予備自衛官等訓練に参加される皆様が、安心して訓練に参加できる環境づくりに取り組む所存です。

## 【国家を守る公務員】自衛官募集中!!

# PHOTO GALLERY

## 【令和5年度三自衛隊統一募集広報パワーアドベンチャー2023】 場所：鹿児島本港北埠頭



乗員による艦橋説明



艦長席を体験する参加者



「せとぎり」の乗員と記念撮影



護衛隊「せとぎり」(奥)  
護衛隊「あさぎり」(手前)



乗員によるヘリ格納庫の説明

## 【全国統一夏季採用広報キャンペーン】 場所：本部庁舎前(各所)・宮崎駅前・南宮崎駅前



本部庁舎前



本部庁舎前(総務課)



グッズ配布



宮崎駅前(募集課)



南宮崎駅前(広報班)



南宮崎駅前(援護課)

## 【宮崎県防災の日フェスタ】 場所：イオンモール宮崎



宮崎所長による防災説明  
(黒木2尉)



VRによる飛行体験



ミニ制服試着



来場者の記念撮影

## 【陸上自衛隊第8音楽隊コンサート】 場所：清武文化ホール



満席の会場を沸かす第8音楽隊の音色



指揮者：第8音楽隊隊長(2等陸尉 原口 浩文)

## 【佐世保地方隊創立70周年記念行事】 場所：佐世保港立神岸壁



護衛隊「いせ」



「いせ」乗艦記念撮影



陸上自衛隊  
第4音楽隊演奏



甲板にて記念撮影



乗員による装備品説明

## 【ちびっ子大集合】 場所：青島青少年自然の家



地本ブース



学生の記念撮影



制服試着体験コーナー



来場者の記念撮影

## 【体験搭乗・SH-60K】 場所：鹿屋航空基地



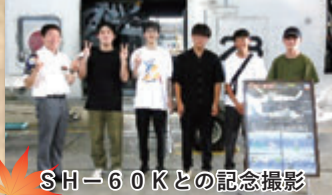
SH-60Kとの記念撮影



救命胴衣装着説明



クルーによる機内説明



SH-60Kとの記念撮影



クルーによる展示説明



搭乗を終えた参加者  
(SH-60K)

## 【体験搭乗・CH-47JA】 場所：新田原基地



CH-47JAとの記念撮影



機内に搭乗する参加者



ヘリに向かう参加者  
(CH-47JA)

【国家を守る公務員】 自衛官募集中!!

【人事異動】

**【褒賞状】**  
 都城地域事務所 広報官 久徳 康弘  
 期間業務隊員 久徳 康弘

**【車両操縦無事故表彰】**

募集課 広報班  
 二等海曹 (職務遂行) 宮内 紀一

援護課 一等陸曹 (職務遂行) 山崎 祥司

募集課 一等海曹 (職務遂行) 清藤 寿久

都城地域事務所 陸曹長 (職務遂行) 内永 幸三

宮崎募集案内所 海曹長 (職務遂行) 木幡 裕一

宮崎募集案内所 陸曹長 (職務遂行) 犬童 光一

援護課 陸曹長 (職務遂行) 西牟田 利一

日南地域事務所 一等陸曹 (職務遂行) 広報官 西牟田 利一

日南地域事務所 一等陸曹 (職務遂行) 広報官 西牟田 利一

総務課 会計班長 (職務遂行) 田中 一徳

防衛事務官 (職務遂行) 田中 一徳

【前期異任紹介】

**【転入者】**  
 延岡出張所 広報官 上本 英明  
 一等陸曹 (第四後方支援連隊・第二整備大隊・第三普通科直接支援中隊) 宗義 長友  
 第二十四普通科連隊(えびの) 二等陸曹 長友 宗義  
 (新田所分駐所 広報官) 宗義 長友  
 令和五年八月一日付

**【第一級賞詞】**  
 新田原分駐所 広報官 越智 大介  
 二等空曹 (優秀広報官) 越智 大介

**【第四級賞詞】**  
 総務課 会計班長 田中 一徳  
 防衛事務官 (職務遂行) 田中 一徳

**【第二級賞詞】**  
 新田原分駐所 広報官 越智 大介  
 二等空曹 (優秀広報官) 越智 大介

**【転出者】**  
 第一整備補給隊(鹿屋) 一等陸曹 有馬 政和  
 二等海曹 宮内 紀一  
 (募集課 広報班) 宮内 紀一  
 第二十四普通科連隊(えびの) 二等陸曹 長友 宗義  
 (新田所分駐所 広報官) 宗義 長友  
 令和五年八月一日付

【定年退官者紹介】



総務課 准陸尉 日高 栄治郎 令和5年9月25日付



援護課 三等陸佐 矢野 浩一 令和5年8月3日付



募集課 陸曹長 福島 好宏 令和5年6月30日付

援護課 一等陸曹 有馬 政和  
 (第四級賞詞・五万キロ) 有馬 政和  
 募集課 広報班 佐賀 博紀  
 (第四級賞詞・五万キロ) 佐賀 博紀  
 宮崎募集案内所 広報官 下田 真也  
 一等空曹 (第四級賞詞・五万キロ) 下田 真也  
 日向地域事務所 広報官 水野 歩  
 一等海曹 (第五級賞詞・二万キロ) 水野 歩  
 延岡出張所 広報官 日高 弘子  
 二等海曹 (第五級賞詞・二万キロ) 日高 弘子

【南海トラフ防災展】

場所：宮崎空港



令和5年9月1日(金)～9月10日(日)の間、宮崎空港ビル株式会社・宮崎空港商事株式会社が主催する南海トラフ防災展を支援しました。

宮崎地方協力本部は災害派遣パネルを掲示したブースを設置し、第43普通科連隊第2中隊(中隊長 塚脇 啓仁 3等陸佐)の支援により地本ブースの横に人命救助セットを展開し、非常用携行食・個人携行救急品・レスキューリュックなどを展示しました。特に瓦礫の中を捜索する破壊構造探索機や瓦礫の中の音を拾う捜索用音響探知機などを体験できるコーナーでは、多くの来場者が感心していました。外のウエルカム広場では、装備品車両の高機動車・軽装甲機動車(LAV)・救命ボートを展示し、来場者に乗車体験・記念撮影をして頂き自衛隊の活動内容を理解して貰えるいい機会となりました。

【令和5年度救急救命法講座】

場所：小林市立野尻中学校



小林地域事務所(所長 2等陸尉 渡邊 寿光)は、令和5年5月15日(月)宮崎県小林市立野尻中学校において、第24普通科連隊(連隊長 大江 良治 1等陸佐)の協力の下、中学1年生61名に対し防災教育・衛生教育・装備品展示を実施しました。災害時の知識と対応力を所長が説明し、第24連隊の隊員が心肺蘇生法とAEDの使用方の説明を行い、生徒全員が人形を使用した心臓マッサージを体験しました。代表の生徒さんは、「私の父も令和2年7月豪雨で被災しました。心肺蘇生法で心臓マッサージを今回体験したから、いざというときに動くことができると思う」と、非常時に取るべき行動を理解したことを話してくれました。

【職場体験学習(インターンシップ)】

場所：宮崎港



宮崎募集案内所(所長 黒木 重文 2等陸尉)は宮崎市立生目台中学校(校長 橋口 康明氏)の依頼を受け、護衛艦「せとぎり」(艦長 星原 健吾 1等海佐)の協力を得て、令和5年7月7日に生目台中学校3年生2名及び教諭5名に対し職場体験学習を実施しました。各種装備品の操作展示、艦橋及び搭載ヘリコプターを見学し、特に操作展示においては実際に動く装備品を見て、学生及び教諭が興味津々の様子で見入っていました。護衛艦「せとぎり」の計らいで取り入れて頂いた体験喫食の「海自カレー」に学生をはじめ、教諭も舌鼓を打っていました。乗員との懇談時間を設けて頂き、終始、和やかな雰囲気の中で体験学習終了の時刻を忘れるまで談笑し、離艦する際には護衛艦「せとぎり」グッズをお土産として手渡され、体験学習を終りました。学生は、「今後の進路の選択肢として真剣に考えていきたい。」と感想を述べていました。

【艦艇広報・掃海艇「つのしま」】

場所：油津港



日南地域事務所(所長 丸尾 英樹 1等陸尉)は、令和5年7月15日(土)に日南市油津港で開催された「油津港まつり2023花火大会」へ参加し、掃海艇「つのしま」(艇長 須々木 宏介 3等海佐)の一般公開と連携して艦艇広報を実施しました。掃海艇「つのしま」の乗員が全般説明を実施し、艦橋から来場者に、応急作業員・化学防護衣・潜水員・ラップ手演奏等の展示及び説明をしました。日南所は午前・午後と広報ブースにパンフレットの配布、装備品車両展示(73式小型トラック)を実施しました。来場者から陸・海・空の自衛隊の組織の違いや、入隊・訓練等に關する質問を受けました。来場者には自衛隊に対する認識と理解を深めてもらい、親近感の醸成を図ることができました。今後も部隊及び協力団体と連携を図り、様々な形で募集広報活動を行ってまいります。

【TOPIX「TOPGUN★SCHOOL」】

場所：本部庁舎(3F)



みんな目指せ航空学生！記念撮影(本部庁舎)

令和5年8月19日(金)に本部庁舎でTOPGUN★SCHOOL(宮崎地本航空学生説明会)を実施しました。本年度からの新たな試みで、昨今志願者数の低下がみられる航空学生の志願者獲得のため、海・空自衛隊の航空学生出身者が在籍する宮崎地本の強みを最大限に活かし、当日は、16名の募集対象者と9名の保護者が参加しました。航空学生(空)61期の川崎3佐が①任務②職種③制度の概要④操縦士の活躍⑤処遇などの説明を実施しました。参加した募集対象者等は目を輝かせて講義を受講する姿が見受けられ防衛施策に対する信頼と協力を得るための親近感の醸成を図るとともに、航空学生受験意欲を振起させることができました。

【女性限定説明会】

場所：本部庁舎(3F)



説明会の最後に記念撮影(本部庁舎)

令和5年8月4日(金)に本部庁舎で女性限定説明会を初開催しました。女性隊員も初めての説明会であり、どのように話を進めればいいのか、想定外の質問等も予想しながら当日を迎えました。学生や入隊予定者、保護者も女性ばかりで緊張感が漂う中、5名の女性隊員による自己紹介や陸・海・空それぞれの女性自衛官が自身の職場の体験談やプライベートなどの質問に答え談笑しました。参加者からは「男性隊員には聞きづらい内容も相談できて良かった」「心配事が沢山あったが安心した」などの意見があり、この説明会に参加して良かったと言ってもらい有意義な説明会となりました。